

# Symphony

67

2018.2.20



宮沢英治 《ほっと一息》

特集

～ベトナムデーin Ashikaga2017から～

シンチャオ紙上座談会

# 特集

## ～ベトナムデイ in Ashikaga 2017から～ シンチャオ紙上座談会



今、足利には、約4,400人の外国人が暮らしています。外国人の地域への定住化が進む中で、国や民族などの異なる人々が、言語や習慣などの文化的な違いを超えて共に生きていく「多文化共生」のまちづくりが必要とされています。

当協会では、毎年、市から委託を受けて「多文化共生推進イベント」を実施しています。今年は、11月11日(土)に市民会館別館ホールで、『ベトナムデイ in Ashikaga 2017』を開催しました。今回の特集は、当日行われたベトナム出身の皆さん4名による「シンチャオ座談会」をベースにして、事前インタビューでのお話も加えて再構成し、紙上座談会と題してご紹介します。

※シンチャオ座談会司会：榎澤秀彦副実行委員長

シンチャオ：ベトナム語/おはよう/こんにちは/こんばんは



### まずは、メンバーのプロフィールから…

#### レ・ホアン・ヴィエット(LE HOANG VIET)さん

- ハノイ市出身
- ベトナム北部に位置する首都。南部のホーチミン市に次いでベトナム第2の都市で、政治と文化のまち。
- 足利工業大学留学生(工学部3年生)、日本滞在5年
- 趣味 旅行
- 好きな日本の食べ物 納豆以外は何でもおいしい。



Q 足利工業大学を進学先として選んだ理由は？

A 東京の日本語学校に紹介されて入学しました。

#### ヴァー・ヴィエット・ターン(VU VIET THANG)さん

- ディエンビエンフー市出身
- ベトナム北西部のラオス国境のまち。第1次インドシナ戦争の1954年、ベトナムがフランスを破り、フランス統治の終了に至ったディエンビエンフーの戦いで有名。
- 足利工業大学留学生(工学部2年生)、日本滞在5年
- 趣味 バトミントン(部活もバトミントン部)
- 好きな日本の食べ物 たこ焼き、ラーメン



Q ディエンビエンフー市は急速に発展していますが、主な産業は何ですか？

A 観光産業です。

#### グエン・ビッチ・トウイ(NGUYEN BICH THUY)さん

- ホーチミン市出身
- 旧名サイゴン。古くからベトナム経済の中心地として栄え、東洋のパリと呼ばれたフランス統治時代の面影を残す南部の中心都市。
- 日本語講座「日本語教室なかよし」受講生
- 技能実習生(株)タツミ勤務
- 趣味 旅行、カラオケ
- 好きな日本の食べ物 寿司、刺身



Q トゥイさんも旅行が趣味ですが、日本で旅行した所はどこですか？

A 横浜、名古屋、京都、大阪、神戸とか、富士山にも行きました。

#### コメント(C)

グエンさんという名前は人口の40%で最も多く、2番目がチャンさん、3番目がレさんです。座談会メンバーもお二人がレさんですね。名前は、姓+クッションの名+名で構成されていて、普段は最後の名前だけで呼び合うそうです。

#### レ・ホアン・タン(LE HOANG THANG)さん

- ホーチミン市出身
  - 関東学園大学留学生(経営学科3年生)、日本滞在4年
  - 趣味 カラオケ
  - 好きな日本の食べ物 いなり寿司
- Q カラオケで好きな歌は何ですか？
- A 中西保志の「最後の雨」です。AKB48も歌いますよ。



### 日本に来てのカルチャーショックや、困ったこと、変だと思う点は、どんなことですか？



#### ヴィエットさん

A まず驚いたことは、日本人が電車の中で居眠りをしていることでした。寝ている間に荷物を盗まれないのかと思いましたが、日本で生活していて、世界でトップクラスの治安の良さを誇る日本だから、安心して居眠りをすることができるんだということを実感しましたね。

Q ベトナムの治安は良くないのですか？

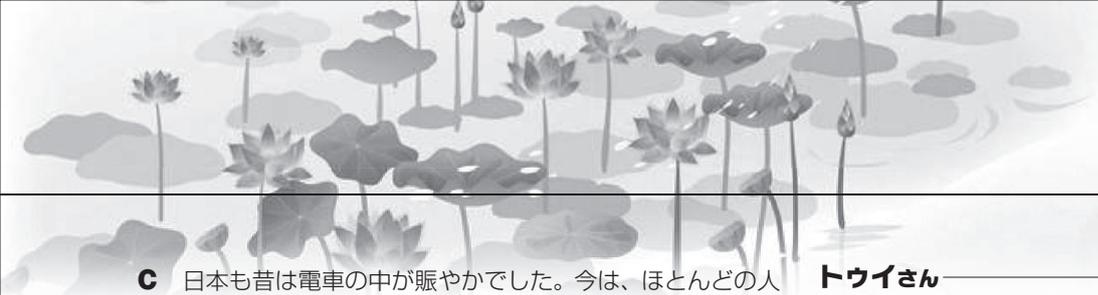
A 日本に比べると悪いですね。バスの中で荷物を盗まれることもあります。

C 日本は、犯罪率で見ると、世界の中で、シンガポール、ルクセンブルクに次いで3番目に犯罪率が少ない国であるという統計もあります。

#### ターンさん

A 変だと思う点は、日本人が何にでも「ありがとう」「すみません」と言うことです。気を使いすぎるように思えて、親しくなれないんですね。

そして、自殺が多いこと。電車の中で静かにしていること。ラーメンをすすりながら食べることなどです。



- C** 日本も昔は電車の中が賑やかでした。今は、ほとんどの人がスマホを見て静かにしているので、話もできませんね。
- C** ベトナムでも麺類ではフォーがありますが、すすって食べないのですか？
- A** すすらないですよ。
- C** 最近は、日本でも、麺をすすって音を立てる食べ方が、外国人に不快感を与えるので、慎むべきであると主張されるようになり、ヌードルハラスメント(和製英語:noodle harassment)とされています。麺を大きな音を出してすすって食べるのは日本の文化とも言えますが、外国人にはなじみが薄く、マナーが悪いと誤解されるようですね。

**トウイさん**

- A** 困ったことは、ベトナムで日本語をかなり勉強して来たのに、日本人とほとんど話すことができなかったことですね。がっかりして日本語を学ぶことを諦めかけたこともありましたが、でも、諦めず一生懸命に勉強して日本語が上達し、今では日本人とも友達になれるほどになりました。
- C** トウイさんは、仕事を終えた後、第1・2・3金曜日の午後7時半から9時まで、市民プラザの日本語講座「日本語教室 なかよし」で勉強しています。

**タンさん**

- A** まず困ったことは、ゴミの捨て方でした。分別が細かくて、いつ、何をどのように捨てるのが、未だに分かりません。
- C** 日本のゴミの捨て方に驚き戸惑う外国人が、たくさんいるようです。大変でもルールを覚えて守るとともに、捨て方が分からない外国人に、日本人がきちんと教えることも必要ですよ。
- A** 日本の住所もややこしいですね。例えば、「〇〇町〇〇番地」と言われても、そのまちの人でなければどうやって行くか分かりません。ベトナムの住所は、道路の両側の建物に順番に番号が振ってあるので分かりやすいです。  
日本の家のような表札はありませんが、道の名前と建物の番号が分かれば、家をすぐに見つけられるんですよ。
- C** 日本人でも町名と番地だけでは分かりません。分かるのは、郵便配達の方とカーナビくらいですよ。

**一方で、日本や日本人の良いと思う点は、どんなことですか？**



**ヴィエットさん**

- A** 日本人は時間を守るので素晴らしいと思います。特に、遅刻をしないということは、ほとんどの日本人が身につけている良い習慣です。企業や公共機関、他人との面会に至るまで、時間を正確に守ることが常識になっています。  
親しい人との間では遅れることもあります、その時は遅れることをメールで連絡していますよね。  
電車の到着が1分でも遅れると、車内放送でお詫びをします。新幹線の到着と出発の時刻は、15秒単位で設定されているそうです。
- C** 新幹線の到着と出発時刻の設定は、日本人でもあまり知らないことですね。

**ターンさん**

- A** 日本人は真面目で、責任感も強い。そして、時間を守るところも良いですね。
- C** ヴィエットさんも、日本人は時間を守ると言っていました、ベトナムの人たちは、時間を守らないのですか？
- A** 守らなくはないですが、日本人ほどではないですね。

**トウイさん**

- A** 日本人はいつも冷たい顔をしています、私たちが困っているときには、助けてくれます。
- C** 日本人は冷たそうに見えるが、親切だということでしょうか。
- A** また、時間を守ることは、日本人の美しい習慣であると思います。電車は時刻表のとおりで、1分も遅れることがないし、人との待ち合わせには10分前に来ますよね。
- C** ヴィエットさん、ターンさん、トウイさんとも、日本人の良いと思う点に、時間を守ることをあげています。日本では当たり前なので、皆さんから言われて改めて気づかされることですね。

**タンさん**

- A** みんな親切だと思います。財布を道で落としたり拾ってくれました。ベトナムでは、気をつけなければ自分のポケットに入っている財布も盗られます。  
そして、日本人は環境をきれいに守る意識が高いですね。学校や職場など、自分の住むところ以外も良く掃除をしています。

**では最後に、皆さんの今後の進路や将来の夢について、お聞かせください。**



**ヴィエットさん**

- A** 大学卒業後は、大学院へ入って、在学中の勉強から見つけた課題の研究に励みたいです。  
その後は、日本のIT関係の会社に就職し、在学中に学んだことを生かして、使う人の立場に立った優れた製品を開発し、ベトナムという国を発展させたいと思っています。  
長く日本で仕事をしたいのですが、父と母がベトナムにいるのでベトナムに帰り、またいつか日本に来たいですね。  
夢は日本とベトナムの架け橋となる仕事をする事です。

**ターンさん**

- A** 大学卒業後、日本のIT関係の会社で数年働き、ベトナムへ帰って、国のために貢献したいと考えています。

**トウイさん**

- A** 私の夢はベトナムで日本語の先生になることです。今は、日本語を勉強し、日本人と会話の練習をすることが最高です。でも仕事を終えた後は、疲れていて勉強に集中できません。勉強が大変で日本語を学ぶことをやめた人もいますが、私は将来の夢と勉強の時間を見直して、頑張り続けました。  
日本語教室では、日本人の先生たちと日常会話を練習しています。先生たちのおかげで日本語の能力が上達しました。先生や日本人の友達に会えて良かったと思っています。  
ベトナムに帰っても、機会があれば日本に戻りたいですね。日本は私にとって二つ目の故郷のようなものですから。

**タンさん**

- A** 大学卒業後は日本で就職したいと思っています。人材関係の仕事で、日本とベトナムの架け橋になりたいですね。
- C** ヴィエットさんとタンさんのお二人から、日本とベトナムの架け橋となる仕事をしたいとの力強いお話がありました、とても素晴らしいことですね。  
ぜひ、日本とベトナム両国の発展のために貢献していただきたいと思います。  
皆様のご多幸と両国の末永い友好をお祈りして、紙上座談会を終わります。最後までお読みいただきありがとうございました。


 会長あいさつ

Symphony


 ご挨拶

新しい年を迎え、会員の皆様にはご健勝にて各方面でご活躍の事とお慶び申し上げます。昨年は、当協会の事業にご支援とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、今年は十二支の11番目の戌年なので、犬にちなんだ話をします。犬の鳴き声といえば、日本では子供のころから、「ワンワン」と教えられました。長い間、そのワンワンは世界共通だと思っていましたが、大人になって色々な国に行くと、初めて国によって違うという事が判りました。韓国では「meong-meong モンモン」、中国では「wu-wu ウーウー」、ベトナムでは「gau-gau ゴーゴー」、スリランカとアメリカでは「bow-wow パウワウ」、スペインでは「jaw-jaw ジャウジャウ」、ドイツでは「haff-haff ハフハフ」、フランスでは「waouh-waouh ワフワフ」、インドでは「bow-bow パウパウ」、ロシアでは「gav-gav ガフガフ」等、様々です。これは、文化や言語の違いで、母音と子音の発音方法が異なって聞こえるからと言われていますが大変興味深いものがあります。

ところで、一昨年の暮れにインドを旅行した時のこと。デリーの街角で一匹の痩せた野良犬が人懐こく私の近くに

来て離れようとしなかった事がありました。肋骨が浮き出て痩せていた犬に哀れさを感じ、私は鞆から煎餅を取り出してあげました。我が家の犬であれば、瞬時に消えてなくなるのに、その犬はしばらく煎餅の匂いを嗅いだ後、食べずに煎餅を残してその場を立ち去りました。予想外な犬の行動に驚いてしまった。空腹ではなかったのか・・・しかし、後で考えてみると、インドの犬はカレー味に慣れ、醤油の匂いは生まれて初めて嗅ぐ匂いだったのかもしれないと思い納得した。

当協会では、毎年「国籍や民族などの異なる人々が互いの文化の違いを認め合い、地域社会の中で対等に生きていく」という多文化共生を推進する為、様々な事業を展開しております。犬の鳴き声やインドでの犬のエピソードではありませんが、この事業は、足利で暮らす人々が心一つにして寛容な精神で根気強く続けていくことが大切だと思います。

本年も、皆様にとってワン・ダフルな年でありますよう心からご祈念申し上げます。

会長 大貫 輝


 総務委員会

Symphony


 外国人の権利と憲法

委員長 岩佐 富男

- 外国人 (foreigner、語源はforestに住む人) は、足利市に4,347人、栃木県に35,721人、そして日本には3,022,121人住んでいる。足利市ではスリランカ人、栃木県及び日本全体では中国人が1位の割合を占める。日本国憲法はこれらの外国人の権利を保障する。但し日本国民と全く同じではない。「何人も～」で始まる条文、すなわち第16条、第17条、第18条、第20条、第22条、第31条乃至第35条、第38条乃至第40条の全13条は外国人にも保障されるが、「すべて国民は～」で始まる条文、すなわち第13条、第14条、第26条、第27条は、外国人には必ずしも保障されるとは限らないのである。勿論、下位の法令で保障することは可能である。これらは「権利」(Right)であり、「正義」であり、法律 (Gesetz) の根底にある「法」(Recht) すなわち、時空を超越した「真理」であるから、時の政府や内閣が専断的、恣意的に変更できない“人類普遍の原理”なのである。
- 「憲法」とは原理的に歴史的に「国家を縛るもの」であり、「法律」とは「国民を縛るもの」である。従って、議員が“国民の皆様とともに憲法を守ろう”とか“破ろう”と叫ぶのは誤りであり、憲法第99条に違反する。ドイツでは、学問の自由を有する大学でも“憲法を否定する自由はない。”とされ、憲法が強く守られている。全文99条の日本国憲法は、その最初の第1条の「国民主権」と最後の第99条の「国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員の憲法尊重擁護義務」で、強固な「枠」を構築し、議員や公務員に対しては、国民には課していない“第4の義務=第99条”=“憲法を守る義務”を課しているのである。
- 外国人に対するヘイトスピーチや無言の差別、さらには日本人同士での学校や職場でのいじめ、嫌がらせそして自殺、過労死等々、井の中の蛙である日本人特有の“負の文化?”を放逐するのは、個人の尊厳に立脚する人権というパワーしかない。特に職場や学校での上司や強い権力を有する者への謙抑性およびその内心への働きかけと啓発、そして社会全体が多くの異なった価値の存在を認める国際交流へとより活性化することが求められる。

## 地域委員会

Symphony

## 地球市民の心でメリークリスマス!

委員長 鈴木 光尚

12月17日(日)足利市民プラザ小ホールで開催された「足利市国際交流協会・ファミリークリスマス2017」は、日本人も在住外国人の方々も、地球市民としての心を紡いだクリスマスの集いとなった。14カ国350人の参加者は、家族連れが目立ち、文字通りの“ファミリークリスマス”となった。「クリスマスメドレー」のハミングで始まったキャンドルサービスの後、山田悦子さん指揮の“ザ・バナナ”20名のゴスペルライブが、躍動感溢れるクリスマス・ソングを歌い上げた。次に、今や人気・実力ともに上昇中で、とちぎ未来大使・あしかが輝き大使のケーナ奏者Renさんのコンサートが満場の観客を魅了した。つづいて、奥中副会長の乾杯の後「パーティー」に入り、ベトナム・タイなど世界10カ国の料理や飲み物などを囲んで、あちらこちらで歓談・笑顔の輪が広がった。舞台では、富田中学校の若さあふれるみなさんの琴演奏やワクワクドキドキのマジックショー、そして、実力派・原 正夫さんたちのスタンダードナンバーを中心にしたジャズ演奏で大盛り上がり。

り。締めは、子どもたちに大人気の「紙ひこーきのバルーン・アート」。会場では、ネパール支援NGOの紹介・粋な印半纏・ハングルの書の展示や東日本&熊本被災地支援ボランティア・NPO市民活動などの展示も行われ、参加者の共感を呼んでいた。30名を超える若者を中心としたボランティアたちによる手づくりの「ファミリークリスマス2017」は、民族や国境の壁を超え、地球市民の絆を確かなものにして、来年の再会を誓いながら幕を閉じた。



## 友好交流委員会

Symphony

## ポットラックパーティーの行方

委員長 小林 静子

ポットラックパーティーは、足利市の委託事業「多文化共生推進事業」として平成20年度に始まりました。当初は各部会より選出された方々で実行委員会を組織し実施しており



ましたが、平成24年度より友好交流委員会が運営を担当しています。現在、姉妹都市交流事業として実施している、スプリングフィールド市青少年訪日団歓迎事業を含め、年に4回のポットラックパーティーを開催しております。

当初の参加者は、ICCのメンバーをはじめとする協会員が中心でした。各自が持ち寄った自慢の料理などを話題にし、少人数での交流でした。その後、より多くの市民の皆様にお集まりいただき、市民の方々にAIAを知っていただく機会と捉え、ニューイヤーパーティーを兼ねて開催したり、スプリングフィールド市やルーマニア、台湾などからの訪日団の歓迎を目的として実施したり、紆余曲折を経て開催してきました。少しずつ周知され、現在では100名以上の参加者を集めるまでとなりました。

一方、不特定多数の方が各々の料理を持ち寄るとことで、衛生面については細心の注意を払う必要があります。食中毒

の危険は常に伴います。

また、この10年で在住外国人の定住化が進み、彼らのニーズが多様化したためか、現象として参加外国人が少なくなって来ました。

過日の役員会で、ポットラックパーティーのあり方について話し合われ、来年度以降の開催について様々なご意見をいただきました。

そんな中、今年度の「春節ニューイヤー 2018ポットラックパーティー」が1月28日市民会館別館ホールで開催されました。恒例のお餅つきや黎明座さんの和太鼓演奏の他、華やかなダンスや歌などで盛り上がりしました。

和洋折衷のバラエティーに富んだ料理を食べながら、会場のあちこちで交流の輪が広がっているのを見ると、ポットラックパーティーを廃止してしまうのはとても残念に思いました。

今後は、皆様からいろいろなご意見をいただき、この10年積み上げてきたポットラックパーティーのノウハウを踏まえ、楽しい交流の場を提供できるように、スタッフと共に心掛けていきたいと思っております。



## やる気に思うこと

委員長 奥中 敏則

会社を1年早期退職したら、間もなく高校から英語講師のオファーがあった。今は2つの高校で非常勤講師をしている。そのうちの1校で、授業の他にボランティアで英語スピーチのトレーニングを行っている。

「これは勝負だから、勝った者は笑い、負けた者は泣く。ただ、勝ち負けに拘らなければ、この英語スピーチコンテストのためのトレーニングは、英語を学ぶには本当にお得だと言える」発音の仕方から、抑揚、間の取り方、感情表現に至るまでネイティブ顔負けの内容だと思う。英語力が上がることは確かである。但しテストが出来るようになるかということそうではない。だから英語のテストに強い生徒はやって来ない。

しかし、英語が好きな生徒は、願っても無いことと飛びついてくる。何となく将来役に立ちそうとか、格好いいからやってみたいからとチャレンジする生徒もいる。英語ができるとか、できないとか、そんなの関係ないのだ。要はやる気のある者を鍛えてやろうということなのだ。

Aさんは学校に遅刻はするし、教師に反抗するし、とてもジャジャ馬だった(らしい)。

(らしい)というのは、私の英語の授業では気持ちが集中していて、とても良い生徒なのだ。ほかの先生方の評価に耳を疑ったくらいだ。その後、理由が分かった。英語が好きなのだという。そんなAさんと数名の生徒がスピーチコンテストにチャレンジしたいということでトレーニングが始まった。朝、授業が始まる前に朝練をしていたのであるが、Aさんは出てこない。本人に理由を尋ねると、朝起きられ

ないのだという。「優勝したかったら練習に出てこい」と一喝した。そうしたら出てくるようになった。

アクセント、抑揚にクセがあったが、幸いなことに発音の基礎はできていた。飲み込みが良いので、私のアドバイスを理解して上達していった。

「この箇所はこういう意味。背景はこういう状況です。君ならばこの箇所をどのように表現するのか？」という具合に考えさせる。そしてスピーチさせてみる。僕ならこんな具合にスピーチするよ、と実際にやって見せる。

理屈は簡単なのだが、日本語にない発音を駆使して、自然にスラスラと母語を扱うように感情表現豊かに英語のスピーチを仕上げるのは、コーチする側としてみると大変なことなのだ。勿論、生徒たちはもっと大変なことなのだ。

しかし様々なプロセスを経て、私の意図した通りに仕上がってくると、生徒も手応えを感じてくるようだ。そして自信が湧いてくる。それでこのトレーニングは成功なのだ、おまげがあった。

Aさんはコンテストで優勝してしまったのだ。Aさんのお母さんが見に来られていて、私の手を握って「あんな娘をよくあそこまで育てて頂き有難うございます」と言ってお礼を云われたときに、私の手の甲にお母さんの涙が落ちた。思わず私の目も潤んでしまった。Aさんのやる気が実を結んだ。何年前のことである。

余談であるが、今年もトレーニングの甲斐あって幸運なことに教え子が一人準優勝を飾った。これも本人のやる気が結実したものであることは言うまでもない。

インフォメーション  
Information

## 外国料理講座「ICCキッチン ベトナム料理」

講師は足利市在住でベトナム出身のトー タン チュクさんです。

料理だけでなく、ベトナムの生活、食文化の違いなどについてもお聞きします。

- 日 時：平成30年3月17日(土) 午後2時～午後4時
- 会 場：生涯学習センター料理室
- 料 理：フォー、春巻き
- 受講料：1,000円

## 平成30年度定期総会&amp;記念講演会

- 日 時：平成30年5月19日(土) 午後1時30分～
  - 会 場：生涯学習センター302号室
- ※定期総会に引き続き、記念講演会を開催する予定です。

募集  
の  
シ  
ブ  
ル

## 国際理解講座等の講師

学校や公民館などでの外国文化、生活の紹介、外国料理の指導その他ご協力して下さる外国人を募集しています。

## ホストファミリー

ホームステイにご協力して下さる家庭を募集しています。姉妹都市スプリングフィールド市訪日団の引率者、県内の大学に在学中の留学生やALTなどの受入をお願いしています。



## 小さなハートプロジェクトから

一般社団法人 協力隊を育てる会 熊野 寛子

足利市の皆さん、こんにちは。私は協力隊を育てる会で、貴市からご支援をいただいている「小さなハートプロジェクト」を担当しています。昨年（2017年）3月に足利市ボランティア協会主催のアフリカ救済節食ディナーで、初めて実施報告をさせていただいた際、多くの方が様々な形で協力、参加されている姿に感動しました。そして、世界だけでなく日本も多くの課題・困難を抱え、支援が求められている中、アフリカ人の友人がいる、家族がアフリカに住んでいるなど、個人的な繋がりが少ないアフリカへの支援を続けておられることに感動しました。今回は、皆さんに少しでも多く、アフリカの現状とそこで頑張っている青年海外協力隊の活動をご紹介できればと思い、保健分野と教育分野の2つのプロジェクトをご紹介させていただきます。

### ■バナナ「小学校に水とトイレを！」

甲斐 未来 隊員

甲斐隊員の任地アブラフエ市には公立小学校が140校あります。その中で使える水が敷地内にある学校は僅か33校です。トイレは122校に一応設置されているが児童数に対してかなり少なく草むらで用を足す児童、教師が多くみられます。現在、保健衛生の知識を教えても、水道やトイレの設備がないため、実行するのが厳しい状況です。そして、実際に、生徒たちは、手洗い等で予防できる下痢などになることが多くみられます。そこで、児童数800人規模で市の定期テスト会場ともなっているボズインペ小学校に水道とトイレを設置しました。

バナナでは、トイレで用を足す、食べる前に手を洗う、という日本では当たり前のことが習慣づいていないため、教員と生徒の代表で構成される保健委員会を中心として、トイレの使用、清掃方法および手洗いに関する啓発活動にこれからも取り組んでいくとのことです。

### ■モザンビーク「子ども達に夢と希望を！」

ナカラ市初の子ども図書館設立

藤田絵美子 隊員

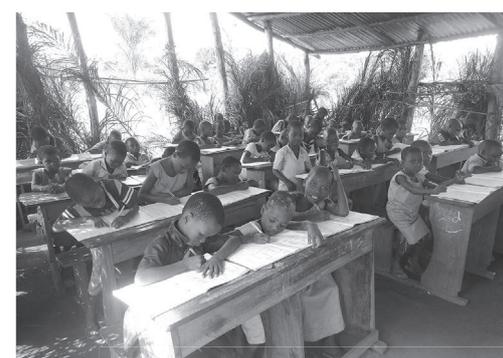
藤田隊員の活動先であるナカラ市は、国際貿易港によってモザンビークの経済を牽引しており、2035年には100万人規模の大都市になると予想されています。しかし、子どもたちがおかれている環境に注目すると、教材や施設が不足しているために、多くの子どもたちは十分な教育を受けられず、将来就職することが難しい状況にあります。

そこで、子どもたちが未知の知識に出会う楽しさを知り、「もっと学びたい、もっと知りたい」と思うことのできる場をつくりたいと考え、公民館を改修し、書籍を購入して子ども図書館を設立しました。

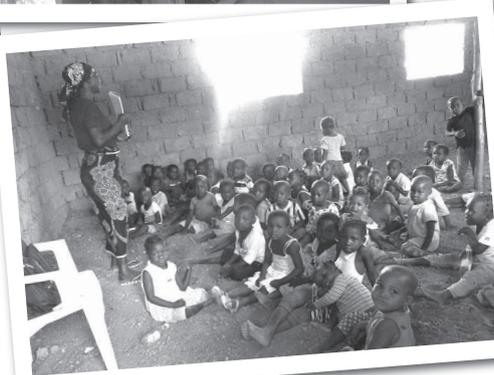
図書館完成後はたくさんの子どもたちが図書館を利用して

いますが、書籍の取り扱いや管理について、課題が見つかりました。現在は、課題の解決に取り組むとともに、本の読み聞かせや映画等の上映会、PC講習会を実施しています。子どもたちの学習意欲、識字率向上、そして若者の就職支援にも繋がりたいと考えています。

どのプロジェクトでも、建物などの完成が終了ではなく、それらをどのように活用していくのが大切であり、スタート地点なのだと思います。問題の解決には時間がかかるけれども、小さな支援、小さな変化を積み重ねていくことが大切なのだと思います。足利市の皆様から長くご支援いただいていることに改めて感謝を申し上げますとともに、これからも現地の様子、隊員の頑張りを伝えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



← バナナ 教室の様子



→ モザンビーク 環境でも勉強している

青年海外協力隊の国内外での活動を支援する、  
一般社団法人 協力隊を育てる会の公式ページです。  
<http://www.sojocv.or.jp/>

▼日々の活動はこちらで更新中▼

<https://www.facebook.com/sojocv>

▼あなたが、わたしが、つくる未来「GLOBAL SPROUT」▼

<https://www.facebook.com/globalsprout>



## 第15次青少年英語スピーチコンテスト優秀者訪米団報告

団 長 久保田 一志

11月15日より22日まで、第15次青少年英語スピーチコンテスト優秀者訪米団として姉妹都市スプリングフィールドを訪問してまいりました。女子3名、男子2名の団員は滞在中、親善大使の役割を十分に果たし、ホストファミリーを始め、現地の関係者からお褒めの言葉を頂きました。とりわけ旧議事堂でのグデイスバーグ演説披露では持てる力を発揮し、見事なパフォーマンスをすることができました。今回ホストファミリーでもあったジェームス ラングフェルター市長を始め、お集りいただいた姉妹都市協会の皆様から拍手喝采を浴びました。10代の感受性豊かな時期に母国語でない言葉を駆使し、あのように堂々とスピーチ披露できた経験は一生の財産であり、かけがえのないものです。15次訪米団員5名の一人一人に敬意を表したいと思います。また、本当に素晴らしい機会を今回与えてくださったことに改めて団を代表して心よりお礼申し上げます。



今回、初めてスプリングフィールドを訪問し、姉妹都市交流27年の重みを肌で感じる事ができました。2日目にリンカーンの生家を訪れた際、声をかけてくれたインフォメーションセンターの男性は「ASHIKAGAに行ったことがある。ASHIKAGAは僕にとってスペシャルだ」と心から歓迎してくれ、思わず嬉しくなりました。また、

ポットラックパーティーで数年前に足利を訪れ、現在は大学院で繊維に関して研究をしているという若者と会いました。実に楽しそうに足利での思い出を語ってくれたのが印象的でした。彼女のお母様は今回、私たちの市内案内に快く協力してくださいました。さらに私のホストのマークの勤務校でもあるIllies Schoolのケニヤツタ校長先生は以前、足利市でALTとして生活された経験のある方でした。足利での素敵な思い出を当時を懐かしむようにしてくださいました。校内を見学した際には本当に丁寧に説明してください、人柄が伝わりました。

このような暖かい交流は今回に限ったことではなく、これまでも、そしてこれからも続いていくものでしょう。これは関係の皆様がこれまでの姉妹都市交流に関わってこられた努力の賜物であり、今後、今回の団員たちを始めとする若い世代も中心となり、この素晴らしい交流の一翼を担ってほしいと思わずにはいられません。

数え切れないほどの出会いと感動を共有した団員一人一人のこれからの活躍を祈るとともに、今回の派遣に際し、ご支援ご協力くださった関係の皆様すべてに心より感謝申し上げます。これからも足利市とスプリングフィールド市の姉妹都市交流が末永く発展していくことを願っています。



## 「着物を通じた外国人との交流」

私は「誰にでも着物を楽しんでもらいたい」との思いから、着物の着付けの仕事をしています。

着物というと足利は「足利銘仙」。ますます海外からの関心が高まっています。私は外国の方に「着物に隠された日本人の知恵や心」を伝えていきたいと思っています。

しかし、私の場合は着物のことを知っていても、外国語が話せないで日本のことを

伝えられません。そこで国際交流協会で開催されている英会話講座を受講しました。それが入会のきっかけです。

英会話講座では丁寧に指導していただきました。また、ポットラックパーティーに参加したときは、はじめは外国人を前にどうしたらいいのかかわからずいましたが、着物を着ていることでお声をかけていただき、みなさんでお話したりお写真を一緒に撮ったり、初対面の方に顔を覚



美重子きもの着付教室 講師 大森美重子

えてもらえたりと着物を着ていて良かったなと思いました。これからも外国の方との交流を大切にして海外文化を学び、日本文化を伝えていけたらと思っています。

Have you ever put on a kimono?

I am a professional kimono-dresser.

If you are interested in traditional Japanese kimono, I would like to assist you to wear it.

Please feel free to contact me.

Mieko Omori.

Mail address: mieko730@ozzio.jp



### 表紙の説明

#### 第7回 足利市立美術館友の会展

#### 「館長が見つけた足利の作家たち」

2018年3月10日(土)～3月25日(日)

開館時間：10時から18時(入館は17時30分まで)

観覧料：無料

会場 足利市立美術館

休館日 3月12日(月)、19日(月)、22日(木)

桜井雄二(型紙彫)、宮沢英治(彫塑)、浜田陽一(絵画)、小澤智恵子(造形)の4人の展覧会。

#### 足利市国際交流協会会報 第67号

2018年2月20日

足利市国際交流協会総務委員会広報チーム

足利市国際交流協会事務局(足利市生涯学習センター2階)

TEL 0284-43-2412 / FAX 0284-43-2418

http://www.ashikaga-inter.jp/

E-mail: info@ashikaga-inter.jp

(入会希望・ご意見・ご要望などお寄せください)